

薬剤の使用に際しては、必ず商品の説明書をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。

最新の適用病害虫名・対象作物名については、[メーカーのホームページ](#)をご参照、または、お問い合わせください。

(こちらに掲載している内容は、2025年4月現在の内容です)

## GF オルトラン液剤

有効成分：アセフェート…15.0%

農林水産省登録 第21790号

※印は本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用害虫名	希釀倍数	使用液量	使用時期	総使用回数※	使用方法
ばら	アブラムシ類 チュウレンジハバチ	250～ 500倍	100～ 300mL/m <sup>2</sup>	発生初期	5回以内	散布
きく	アブラムシ類		200～ 700mL/m <sup>2</sup>			
さくら	アメリカシロヒトリ	250倍	1L/m <sup>2</sup>	発生初期	5回以内	生育期株元灌注
	コガネムシ類幼虫	250～ 500倍	200～ 700mL/m <sup>2</sup>			散布
つつじ類	ベニモンアオリンガ	250～ 500倍	200～ 700mL/m <sup>2</sup>	発生初期	5回以内	生育期株元灌注
	ツツジグンバイ					
つばき類	コガネムシ類幼虫	250倍	1L/m <sup>2</sup>	発生初期	5回以内	散布
	チャドクガ	250～ 500倍	200～ 700mL/m <sup>2</sup>			
くちなし	オオスカシバ	250～ 500倍	200～ 700mL/m <sup>2</sup>	発生初期	5回以内	散布
	コガネムシ類幼虫					生育期株元灌注
まさき	ミノウスバ	250～ 500倍	200～ 700mL/m <sup>2</sup>	発生初期	5回以内	散布
	サンゴジュハムシ					生育期株元灌注
樹木類（さくら、つつじ類、つばき類、くちなし、まさき、さんごじゅを除く）	コガネムシ類幼虫	250倍	1L/m <sup>2</sup>	発生初期	5回以内	散布

- ・2021年9月20日付：さくら、つつじ類、つばき類、くちなみし、まさき、さんごじゅの変更。  
樹木類（さくら、つつじ類、つばき類、くちなみし、まさき、さんごじゅを除く）の追加。

## **●効果・薬害等の注意**

- ①使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ってください。
- ②さくらに使用する場合、夏季高温時の使用はさけてください（薬害）。
- ③つつじ類、つばき類の生育期株元灌注では樹高が高くなりすぎると効果が劣るので、樹高2m以下で使用してください。
- ④適用作物群に属する作物又はその新品種にはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病害虫防除所または販売店等と相談することが望ましいです。

## **●安全使用上の注意**

- ①体調のすぐれない時は散布しないでください。
- ②誤飲などのないように注意してください。誤って飲み込んだ場合は吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた時は、医師の手当を受けてください。
- ③眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください（刺激性）。
- ④散布時は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてください。
- ⑤街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係ない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- ⑥風向きなどを考え周辺の人家、自動車、壁、洗濯物、ペット、玩具などに散布液がかからないように注意してください。
- ⑦蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかかるないようにしてください。
- ⑧ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
  - ・ミツバチの巣箱及びその周辺にかかるないようにしてください。
  - ・受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園などでは使用をさけてください。
  - ・養蜂が行われている地区では周辺への飛散に注意する等、ミツバチの危害防止に努めてください。
- ⑨使用後の空容器は3回以上洗浄してから処理してください。

治療法：解毒剤としては硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤の投与が有効です（動物実験で報告）。

## **薬剤の使用に関する注意事項**

適正かつ安全に使用していただくため基本的な注意事項をご案内します。

[薬剤の使用に関する注意事項](#)